

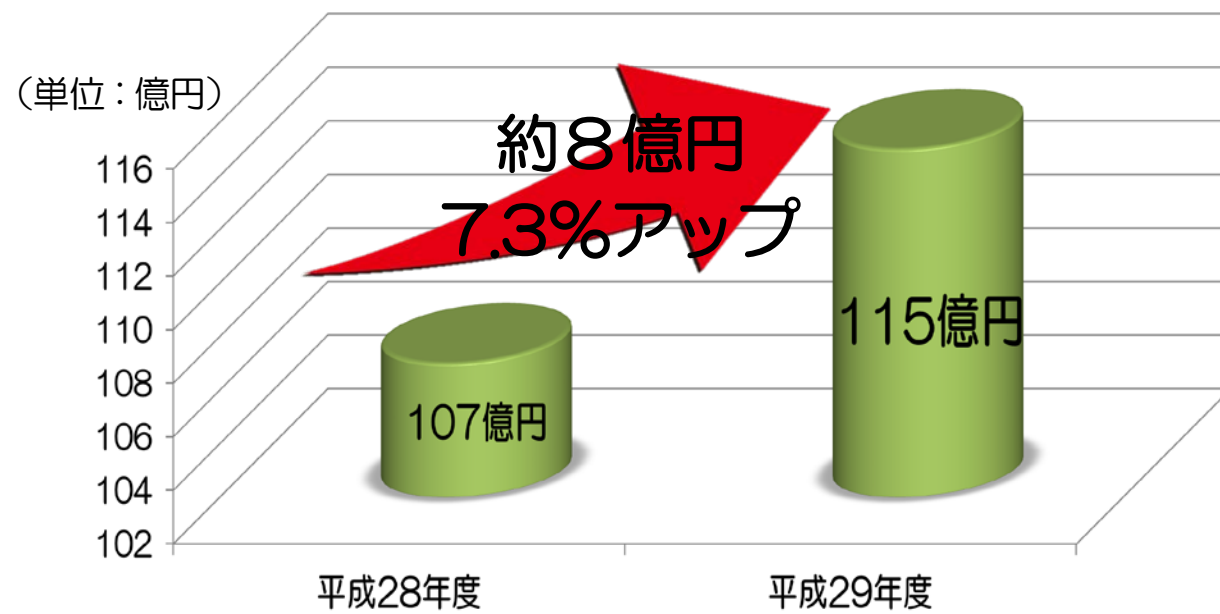
門真市 平成29年度当初予算の主な事業

子育て・教育施策関連予算の充実

- ★子育て・教育環境の面では、子育て世帯の流出防止に向けた取組や子どもの貧困対策は喫緊の課題。
- ★門真の未来を担う子どもたちを安心して産み育てることができる環境づくりを推進。
- ★子どもたちが将来、社会でしっかりと生きていく力を育めるよう、学校や地域の中で年齢に応じた経験を積むことができる機会を確保。

子育て・教育施策関連当初予算

(単位：億円)



学校大規模改修等の工事、約11億円の減少を除けば、約20億円の大幅アップ

30年4月の市認定こども園オープンに向け、建設着手

市立南幼稚園と南保育園の老朽化に対する安全確保、就学前の総合的な教育・保育の提供の場として魅力ある園づくりを目指し、両園を一つにした幼稚園と保育園の機能を併せ持つ「認定こども園」として、平成30年4月に開設を予定。

- 敷地面積 2,800㎡
- 延床面積 約2,310㎡
- 定員 260人(予定)
 - ※保育園 190人(現行180人)
 - 幼稚園 70人(現行130人)



事業費
1,090,807千円

5歳児の幼児教育・保育・療育の利用者負担の無償化

平成29年4月から、まずは5歳児の幼児教育・保育・療育の利用者負担(保育料)の無償化を開始することで、保護者への負担を軽減し、すべての就学前の5歳児が等しく質の高い幼児教育・保育・療育を受けることができる環境を整え、円滑に小学校教育(義務教育)に繋ぐ。

1号認定利用者負担額 (幼稚園・認定こども園)	世帯の所得等に関係なく、利用者負担額を無料
2号認定利用者負担額 (保育所・認定こども園・地域型保育事業)	世帯の所得等に関係なく、利用者負担額を無料
私立幼稚園保育料 (新制度に移行していない幼稚園)	世帯の所得等に関係なく、30万8千円を上限に、支払った保育料等に対して就園奨励費を補助
児童発達支援施設・事業利用料	世帯の所得等に関係なく、利用者負担相当額を給付金として支給 ※こども発達支援センターは利用者負担額を免除

事業費※影響額
127,766千円

こども医療助成費を高校生(18歳)まで拡充

子育て世帯の負担軽減を図り、子どもを健やかに育む環境をつくるため、医療費の一部を助成しており、これまで入院については中学校3年生まで、通院については小学校6年生までとしていた助成対象を、平成29年10月より、入院、通院ともに高校3年生(18歳)まで拡充する。

H28年度		H29年度	
通院	入院	通院	入院
小学校卒業年度末	中学校卒業年度末	18歳到達年度末まで拡充	

事業費※拡充分
62,140千円

平成31年度の待機児童ゼロの実現に向け、保育定員を拡充

「門真市子ども・子育て支援事業計画」に基づく保育供給数を確保するため、保育定員の拡充を実施する民間保育園等の既存事業者に対し、施設整備補助を行うとともに、特に待機児童が多く発生している0歳児から2歳児の解消を図るため、小規模保育に係る新規事業者を公募し、施設整備補助を行う。

事業費
1,473,412千円

年度	27年度			28年度			29年度			30年度			31年度		
	1号	2号	3号	1号	2号	3号	1号	2号	3号	1号	2号	3号	1号	2号	3号
認定区分	3~5			1~2			3~5			1~2			3~5		
年齢	3~5			1~2			3~5			1~2			3~5		
量の見込み	896	1,257	958	895	1,256	955	893	1,254	954	892	1,252	954	891	1,250	953
提供量	1,543	1,175	826	1,505	1,237	883	1,505	1,261	918	1,485	1,295	942	1,485	1,328	953
過不足数	647	▲82	▲132	610	▲19	▲72	612	7	▲36	593	43	▲12	594	78	0

【参考】門真市子ども・子育て支援事業計画より抜粋

待機児童ゼロの実現

いよいよ待望の市立総合体育館が完成 5月1日オープン

「誰もが身近に利用しやすい生涯スポーツ推進拠点」としての体育館の新たな船出を、市民と共に祝うオープニングイベントを4月30日に開催。